

平成24年第 号

## 尊厳死宣言等公正証書

本公証人は、平成24年 月 日嘱託者〇〇〇〇の嘱託により、尊厳死宣言等に関し陳述した事実を目撃し、この証書を作成する。

第1条 私、〇〇〇〇は、私の病気または外傷が不治であって、かつ、死が迫っている場合に備え、私の家族および医療に携わる方々に、次のとおりにしていただきたく尊厳死宣言をします。

なお、この尊厳死宣言は、私の精神が健全な状態にあるときにしたものです。したがって、私の精神が健全な状態にあるときに私自身が破棄するか、または撤回しない限り有効です。

### 記

- 1 私の病気または外傷が、私の主地位を含む複数の医師により現在の医学では不治の状態にあり、死期が迫っており延命処置を行うと否とにかかわらず死に至り、延命処置の実行は、単に死に至る過程を人工的に引き延ばすだけであると診断された

場合には、そのような延命処置は一切お断りします。

2 ただし、この場合、私の苦痛を和らげる処置は最大限にして  
ください。そのため、例えば麻薬等の副作用で死亡する時期が  
早まったとしても、一向に構いません。

3 私の家族や医師の方々は、私に前記の症状がある場合には、  
私の意思に従い、私が人間として尊厳を保って安らかな死を迎え  
ることできるようご配慮ください。

4 私が以上のような延命処置に関する指示をする能力を失った  
場合、この宣言が私の法的権利の最後の意思表示として、私の  
家族および医師その他すべての関係者により尊重されることを  
希望します。

第2条 私は前条の尊厳死宣言をするに当たっては、あらかじめ  
私の妻・△△△△の了解を得ており、かつ、この宣言に際し  
同人を立ち合わせました。

第3条 私はこの宣言による要望を忠実に果たして下さる方々に  
深く感謝申し上げます。そして、その方々が私の要望に  
従ってされた行為の一切の責任は私自身にあります。

警察、検察の関係者におかれましては、私の家族や医師が

私の意思に沿った行動を取ったことにより、これらの者を犯罪  
捜査や訴追の対象とすることがないように特にお願ひします。

第4条 私は、この公正証書に記載した前記の事項はすべて私の  
真摯な意思に基づくものであることを述べ、関係する方々が  
この宣言を実行していただくよう重ねてお願ひします。

以上

本 旨 外 要 件

千葉県柏市〇〇町 番地

職業

宣言者 ○ ○ ○ ○

昭和 年 月 日生

上記は印鑑証明書の提出により人違いでないことを証明させた。

千葉県柏市〇〇町 番地

職業

立会人（宣言者の妻） △ △ △ △

昭和 年 月 日生